



コロナ禍における日本語・学習支援

新型コロナウイルス感染が発生してから約9ヶ月が過ぎようとしています。2月27日に、全国すべての小中高校の休校要請、そして緊急事態宣言。世界を震撼させました。しかし、今は不安の中にも少し落ち着きを取り戻したように思えます。子ども達のいつも通りの様子を見ていると、コロナ禍ということさえ忘れそうです。

子ども達への支援も6月からとなり、勉強の遅れを心配しましたが、学校側からそのような報告は聞いていません。ただ、指導していて、マスクによる弊害が少なからずあるように思えます。私だけかもしれませんが、お互い「伝わらなくてもまあいいか」というようなあいまいさを感じます。顔が見えないことの不確かさでしょうか。私自身、指導時にフェイスシールドをつけることで、その思いは少し解消されました。

今のところ、子ども達の環境に変化は見られませんが、これから経済に対する影響ははかりしれないものがあり、外国の子ども達の環境も変わっていくかもしれません。私達が今できることは、子どもたちが学校に来ている限り全力で教えるということではないでしょうか。みんなが不安の中にある今こそ、楽しく学びましょう。(信田美智子) ※ 9月に寄稿された文章です。

〈新型コロナウイルス感染拡大の流れ〉

- 1月14日 WHO 新型コロナウイルスを確認
- 1月15日 国内初の感染者を確認
- 1月30日 WHO 「国際的な緊急事態」を宣言
- 2月3日 乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港
- 2月27日 安倍首相 小中高校に全国一斉の臨時休校を要請
- 3月3日 市立小中高校は臨時休業(～3月15日)
- 3月11日 WHO パンデミックと認定
- 4月7日 7都府県に緊急事態宣言「人との接触7～8割削減を」
- 4月16日 緊急事態宣言、全国に拡大 国内感染者1万人超える
- 4月10日 市立小中高校は臨時休業(～5月6日)
- 5月4日 緊急事態宣言、5月31日まで延長
- 5月7日 市立小中高校の臨時休業(～5月31日)
- 5月14日 緊急事態宣言、39県で解除
- 5月18日 市立小中高校の臨時休業、段階的に再開
- 5月25日 緊急事態宣言、全国で解除
- 6月2日 初の「東京アラート」 都民に警戒呼びかけ
- 7月13日 WHO 事態悪化を警告
- 7月22日 「Go To Travel」キャンペーン始まる
- 7月24日 市内中心街で初のクラスター確認
- 7月27日 WHO 「パンデミックは加速し続けている」
- 8月10日 国内の感染者が5万人超える
- 8月28日 政府が新型コロナ対策の新たな方針発表
- 10月27日 商工会議所青年部のクラスター確認

第13回 NPO総会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止し(5/23開催予定)、書面議決を行いました。(回収数74通)

- ・令和元年度 事業・決算報告
- ・令和2年度 事業計画・予算案
- ・役員交代

(監事: 退任/彦坂庸子・新任/佐井菜穂子)
全議案、過半数の賛成で可決されました。

浜松市長表敬訪問

4月14日、第13回未来を強くする子育てプロジェクト「SMIセイ未来大賞・文部科学大臣賞」の受賞を、浜松市長と浜松市教育長に報告しました。



新聞掲載

9月24日、子育て支援ひろば「ここみのおうち」で、タガログ語と英語の通訳として、小さなお子さんをお持ちのお母さんのサポートをしているTOMO2スタッフのアイビーさんが中日新聞で紹介されました。アイビーさんと高さん(中国語)は、「ここみ広場」「ここみの森」でも活動しています。



令和2年度 研修会

3月全体ミーティング(3月9日開催予定)
新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

4月全体ミーティング、ガイダンス研修
(4月13、14、16日開催予定)
新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

7月全体ミーティング(7月13日開催予定)
日時: 8月5日
会場: あいホール
研修: 国語基礎〈書く〉
「話し言葉と書き言葉」「5)手紙文」
講師: 寺澤昌子



新人研修会

会場: 砂丘小はまっこ教室
日程: 7月6、13、20日
参加者: 新人指導者他 4名

小1カリキュラム勉強会

日程: 8月24日
会場: あいホール&リモート
参加者: 会場6名、リモート17名
講師: 信田美智子



初のリモート併用の勉強会でした。

副教材のご紹介

以前より要望の多かった「カタカナ50音 絵カード」が完成しました。また、はまっこテキスト13課(形容詞10名詞)で使えるキットもできました。

販売中

「カタカナ50音絵カード」 ¥300



貸し出し中

「フェルト製クッキーセット」

令和2年度 母語・継承語教室（まつっこ教室）

7月4日、例年より1か月遅れて開講しました。3密を避けるため、募集人数を減らし、開校式も省略しました。体温確認、マスク着用、手指の消毒、換気、席の間隔を空けるなど、感染防止策を取りながら授業を行っています。

ポルトガル語



日程：7月～3月 土曜日開催
 ①9:30～11:00 ②11:30～13:00
 ③14:00～15:30
 会場：浜松市市民協働センター、クリエート浜松



スペイン語



日程：7月～3月 土曜日開催
 13:30～15:30
 会場：南部協働センター



ベトナム語



日程：7月～3月 土曜日開催
 13:30～15:30
 会場：三方原協働センター



外国につながる子供の保護者のための日本語教室



助成：(公財) 浜松国際交流協会 (HICE「ハイス」)

今年度は4年目になり、各自の目標に向かって皆さん頑張っています。

期間 8/1(土)～12/5(土) (全15回)
 時間 まつっこ教室と同じ時間
 受講者 8名
 指導者 3名
 内容 初級クラス、
 N4クラス、N3クラス



外国人の子ども支援員養成講座

主催：静岡県教育委員会、(公財) 静岡県国際交流協会

昨年度に続き、講師を務めています。今年度は、教科理解につなげるための日本語指導方法がテーマです。

日程 沼津 10月7、14、21日
 掛川 11月4、11、18日
 講師 信田美智子、寺澤昌子
 内容 ①教科につながる日本語指導
 計画と文字指導(漢字)
 ②技能別日本語「読む」力
 ③技能別日本語「書く」力



中学校放課後学習支援「アイスプラネット」

助成：(公財) 静岡県国際交流協会

新しい取り組みとして、放課後学習支援が始まりました。学習支援に加えて、居場所づくりや未来へはばたく生徒の夢も応援します。9/28に鈴木時丹氏を迎え、「夢を持つことを考えよう! & フラメンコワークショップ」を行いました。

日時：月・火曜日の放課後(15～17時、16～18時)
 会場：浜松市立高台中学校
 対象：外国につながりを持つ来日2年以上の生徒
 指導者：4名



その他の日本語・学習支援

大平台高校 指導者：2名
 カトリック教会(浜松・磐田) 指導者：8名
 森町学習の場 指導者：1名



企画研修部より

文集『TOMO2』第3号 原稿募集中!

今年も文集『TOMO2』の原稿を募集します。「書く」授業のまとめとして、一人でも多くの生徒に参加を呼びかけましょう。

第3号は「体験・日記文」「観察文」「たから島」「説明文」「手紙文」の5部門で募集します。

締め切りは、12月末までです。
 事務局の募集の棚へ入れてください。



就学前支援

日本の小学校はどんなところ? 入学前に必要な準備は? 子どもだけでなく、保護者の方にも役立つ情報を伝えています。

日時：1回 約1時間(全6回)
 会場：佐鳴台幼稚園、三方原協働センター
 対象：外国につながりを持つ
 就学前の児童とその保護者
 指導者：各2名(日本人とバイリンガル)



※ 支援を必要としている幼稚園の情報があれば、お知らせください。

お知らせ

- **新人研修**
 日程：11月30日、12月7日、15日
 会場：砂丘小学校 はまっこ教室
 対象：新人指導者
- **12月全体ミーティング&バザー**
 日時：12月14日(月) 13:30～15:00
 会場：あいホール 3F 会議室
- **日本語・教科支援 3学期開始 1月8日(金)**
- **母国語教室(まつっこ) 修了式**
 スペイン語・ベトナム語 3月6日(土)
 ポルトガル語 3月20日(土)
- **3月全体ミーティング**
 日時：3月15日(月) 13:30～15:30
 会場：あいホール 3F 会議室



ホームページ、Facebook 更新中

広報担当：
 青島 川島 萩原 谷本